

全国大会発表特別賞

第55回全国大会 [福岡]'24 発表特別賞受賞者挨拶
Greeting from the Winners of Special Reward全国大会発表特別賞を受賞して
瀧澤 樂々
(福島県立福島高等学校)

この度は日本色彩学会全国大会発表特別賞にご選出いただき、大変光栄に思います。今回発表させて頂きました「『明るい』教室の演出に色彩が及ぼす効果」の研究にあたり、入倉隆先生、平田圭子先生、石川敦雄先生に多くのご指導、ご助言を頂きました。ご指導頂いた方々、本賞に選出して頂いた委員の皆様、心から感謝申し上げます。

今回発表いたしました「『明るい』教室の演出に色彩が及ぼす効果」では、「明るい」気分を演出する環境条件、特に色彩に着目し、明るい教室を演出して学習意欲を高めることを最終目標として、研究を進めました。先行研究において「明るさ」を感じさせるとされた赤系の色彩と、事前調査で最も好まれた青系の色彩では、どちらが「明るい」空間演出に効果的なのかを知るために、本校生を被験者とし、先行研究より引用した形容詞対を用いてSD法による空間の印象評価を行いました。また、気分一致効果を利用して空間の演出による気分の変化を調査しました。実験、調査の結果から、赤系の色彩が最も被験者を明るい気持ちにさせることが分かりました。今後、照度や気温、音による気分の変化も調査し、目的に合わせて組み合わせることで、私たちの目指した理想的な「明るい」教室をより効果的に演出できるかもしれないと考えております。

今回は、初めての学会参加ということもあり、私を含め班員一同緊張しておりましたが、自分たちの探究活動の成果を外部で発表し、このように評価いただくことができ、達成感を感じることができました。また、研究段階における「環境」や「空間」という言葉に対する理解や、実験結果に対する客観的な視点の不足を痛感いたしました。本賞の受賞は、私たちの探究活動を熱心にご指導くださった先生方や、高校在学中にこのような活動ができる良い環境によるものだと感じております。今回の受賞を励みとし、高校卒業後もより一層精進してまいります。

色彩学への第一歩
持田 杏樹
(広島市立基町高等学校
創造表現コース)

この度は日本色彩学会全国大会発表特別賞を受賞することができ大変嬉しく思っております。高校へ日本色彩学会全国大会の参加案内が送られてきた時は、私自身の色彩探究を発表してみたいという気持ちを抱くと同時に、専門的に研究をされている多くの方々がいる中で、発表することへの不安もありましたが、日本色彩学会での発表はこれからの作品制作や色彩研究を支えてくれる糧となると思い参加を決意しました。

今回発表いたしました「色彩調和による絵画制作」は、色彩を研究してきた画家の作品や先行研究を学ぶところから始まっていますが、最終的に現状の作品を判断していくのは私個人の感覚です。この色彩探究を始めたきっかけは、DIC川村記念美術館の企画展「カラーフィールド 色の海を泳ぐ」でした。特にマーク・ロスコや、モーリス・ルイスの作品は、色彩探究の軸となっています。私がカラーフィールドペインティングを眼前にした時、平面作品であるにも関わらず画面に「身体が吸い込まれそうになる」体験をし、この感覚に興味を抱き、色彩探究を始めました。

そして、配色の実験や多くの習作を作ることを通し、以前感じた「身体が吸い込まれそうになる」感覚は色彩同士の響き合いが関係すると共に、画面に現れる形や、空間などの構図的要因もあるということに気付き、発表後も「身体が吸い込まれる感覚」をどうすれば感じられるのか、作品制作から追究しています。作品のサイズ、展示環境、照明、鑑賞者の心理など様々な要因で、画面に現れる色彩の効果が変化する事を感じています。

このように、学会への参加は、私に色彩に対する視点の幅広さを教えてくれました。美術という視点のみから色彩を学ぶのでは無く、もっと幅広く色彩を学びたいと強く思います。今回、高校生に学会発表という大きなチャンスをくださった日本色彩学会の皆様、心から感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、大学進学後も色彩研究に精進して参ります。